分　　野　（　２　）ぜん息・COPD患者の患者教育及びアドヒアランスの向上に関する調査研究

研　究　課　題　名：②-(ⅱ)ぜん息・COPD患者に対する患者教育の実践(COPD分野)

申　請　課　題　名：ぜん息・COPD患者に対する患者教育の実践

調査研究代表者氏名：千 住　秀 明

1.評価軸別の評価

大変優れている(5点)　優れている(4点)　普通(3点)　やや劣っている(2点)　劣っている(1点)

| | 5点 | 4点 | 3点 | 2点 | 1点 | 平均点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1) 研究成果目標(目的)の達成度 | 0人 | 3人 | 3人 | 0人 | 0人 | 3.5 |
| (2) 研究計画の妥当性 | 0人 | 4人 | 2人 | 0人 | 0人 | 3.7 |
| | | | | | 個別評価平均 | 3.6 |

2.総合評価

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)評価基準に沿った評価 | 0人 | 3人 | 3人 | 0人 | 0人 | 3.5 |

(2)記述評価

・継続的に人材育成をするシステムを法律上の観点から提案してほしい。

・喘息に応用できる方策を提示できないかどうか検討してほしい。

・45名の修了者をどのように活用するかという研究ではなく、その活動内容についての検証を期待したい。いろいろなGOLD病期の集合体をサブ解析して個別化の教育について策定されることが望まれる。

・規模の拡大が望まれる。

・重要な取り組みである。その具体的な成果の調査などを行って欲しい。

・COPD患者教育の難しさが実感される。

・患者教育を全国展開する際の課題克服のための方策等の提言を期待する。